



Monthly Times

新宮高校
定時制
平成29年5月号

1学期 中間考査が終了!!

5月18日(木)から23日(火)の間に行われました。テスト一週間前から分からないところを質問にきたり、補習を受けて頑張っている生徒もいました。単位数の少ない科目は、4月からの授業時間数も少なく試験範囲も狭く、勉強がしやすかったと思います。すでに、全ての試験が返却されていると思いますが、結果が悪かった科目については、期末試験で奮起して下さい。

定期考査の注意事項を改めて下にまとめておきますので、今後の試験でも十分注意してください。

- ・試験を欠席する場合は、必ず午後6時までに届け出ること。
- ・机の上には、鉛筆・消しゴム・筆箱だけ置くことができます。
- ・遅刻は10分まで認められます。(以後は欠席扱い)
- ・考査中の私語や物品の貸し借りは厳禁。
- ・答案は、考査開始後35分を過ぎると提出できます。
- ・空き時間の自習は、多目的教室を利用して下さい。
- ・その他、監督教官の指示に従うこと。



校庭に咲く ヤマボウシの花

ミズキ科ミズキ属の落葉高木。

各地の山野に生え、高さは5～10mになります。

5～7月、小さな花が20～30個集まった球形の花序を作ります。

白い花卉のように見えるのは4個の総苞片。

名前は白い頭巾をかぶった「山法師」に似ていることから付けられたそうです。

10月頃に果実が赤く熟します。果実は甘酸っぱくておいしい。

花・果実・紅葉と1年に3回楽しめます。

どこに咲いているか探してみましよう。



6月行事予定

6月9日(金) 人権ロング・ホーム・ルーム

16日(木) 育友会総会・授業参観

29日(木) 一年生思春期講座 ・ 一期末考査発表

※裏面につづく

3年・4年 合同特別授業 奈良シルクロード祭

5月9日（火）、2限目に社会科の河野先生が3年生・4年生を対象に「日本史A」の合同特別授業を下記のような内容で行いました。

東へ舟を漕いで瀬戸内海を奥まで行くと、そこに奈良盆地がある。

当時は「唐」という巨大帝国のもとで世界秩序が保たれ、国際交流が盛んだった。古都として栄えた奈良は、東西を結ぶシルクロードの終着点でもあり、世界の多くの物産がここに集積した。

大陸から牛乳が伝わり、煮詰めて「蘇（そ）」と呼ばれるデザートを作り出した。味噌のもとになった「醬（ひしお）」も伝わり、各地から上納された食材の調味料として、貴族の間で重宝された。

ギリシアの彫刻技術が仏像制作に生かされた。中国の石造大仏を参考にしながらも、世界初の金属製大仏が日本で完成した。弥勒菩薩の微笑みや阿修羅の眼差しからは、信仰を超えた芸術性が感じ取れる。東洋の美は、終着点において最高の形で結晶したと言ってよい。

このような文化財が、千三百年の間大切に保存された意味を考えてみよう。日本という国が、「日本」のまま存在し続けた何よりの証拠であり、そのための努力を惜しまなかった先輩たちに改めて感謝したい。

授業では、当時の貴族の衣装を身に付け食事も再現したが、歴史はやはり身近な所から攻めるのが良い。衣食住の体験から、当時の「色」や「香」を味わって欲しい。さらに興味があれば現地へ足を運んでみよう。国造りの夢に挑んだ人々の息吹を「風」に感じることができる。博物館には「実物」が展示されており、当時の人々の「声」が微かに聞こえてきそうだ。舞台に入りこみ、その人になりきることで、歴史と「一体化」できる。

歴史を「ひとごと」と思うな。歴史の主役は、先輩たちからバトンを渡された我々自身なのだから。

